

第10回新城市若者議会

令和元年11月12日（火）午後7時～午後8時
新城市議会 議場

開 会 午後7時00分

1. 若者議会議長あいさつ

○山本彩生議長 若者議会議長の山本です。若者議会条例第6条第1項に基づき、本日の進行を務めさせていただきます。

ただいまから第10回新城市若者議会 市長答申を行います。5月の第1回若者議会から私たちは、若者が活躍できるまちを実現するべく、様々な活動を行ってきました。8月の第6回の若者議会では、政策中間報告を行い、市長さんや担当課の方々と意見交換を行いました。その後も担当課の方々からアドバイスや意見をいただきながら話し合ってきました。本日は、若者議会市長答申ということで、令和2年度若者予算事業計画を策定いたしました。3つの事業を説明させていただきますと思います。

2. 発表

○山本彩生議長 初めに、「C&Hマッチング事業」です。よろしくをお願いします。

○請井映和委員 今から企業委員会の発表を始めます。まず、私たちが感じる新城市の課題・問題点についてです。

先日、市内・市外の5つの高校の2, 3年生を対象に就職に関するアンケートを実施しました。モニターをご覧ください。その結果就職を考えている高校生は全体の50%でした。

また全体の約70%の生徒は、新城市の企業について知らない・興味がないと答えています。

原因は高校生が企業の情報を知る機会がなかなか無いからです。実際にアンケートの結果からも、「興味が無い」と回答した学生の多くが「新城市にどんな企業があるか知らないから」と理由を挙げています。多くの学生が新城市の企業について知らない、わかっていないのです。企業展も参加できるのは市内

の学生のみになるので、市外の高校生は知りたくても情報が集めにくい状況になっています。

そして新城市の企業側はというと、高校生に対してPRする手段が少なく、高校生が企業のどんな情報を知りたいのかよくわからないという声もあります。

この高校生と企業の間には“溝”があるアンマッチな状態であることが、新城市の企業に若者が就職することにつながらない原因であると考えます。このままでは若者の活気もなくなってしまうかもしれません。

これが、私たち若者議会の力で打破すべき問題点だと考えます。

○黒田成哉委員 C&Hマッチング事業の目的は3つあります。

一つ目は高校生にとって新城市の企業が就職の候補となること。

二つ目は新城市の企業に高校生が就職することによって、新城市の企業に若者が増えること。

三つ目は高校生と企業の間を無くすことです。

対象となる人は市内在住の高校生が中心となり、また市外にいる就職を考えている高校生も含まれます。

○曾田こころ委員 政策内容といたしましては、主に2つあり、1つは高校生向けに新城の企業情報を分かりやすくまとめたWebページの作成。もう一つは、Webページを集約したものを冊子にします。冊子は各高校や公共施設に配布していく予定です。メインで作成していくのはWebで、冊子は企業を知ってもらおう入口として活用していこうと考えています。入口として活用する以上、細やかな情報を載せるといふより目が惹きやすいものを作成していく予定です。

Webページの内容は、企業の雰囲気や先輩社員の紹介、仕事内容、1日のスケジュール、福利厚生などの“実際に学生が知りたい”と

回答したアンケートの内容を参考にしつつ、企業側の声も聞き、それを踏まえて、作成する予定です。

C&Hマッチング事業が新城市に与える効果、メリットを四つ考えています。

一つ目はいつでも誰にでもわかりやすく、新城市の企業情報を知る機会が与えられること。

二つ目は企業としても高校生がどのような情報がほしいのか知ることができること。

三つ目は身近に企業を知るためのコンテンツがあることで、高校生の就職に対する意識を高めるきっかけとなること。

四つ目は結果として、新城市の企業が高校生の就活の候補の一つとなる可能性が高くなり、新城市の企業に若者が増え、活性化に繋がることです。

○黒田成哉委員 最後に費用について説明いたします。

歳出はWebページ作成費16万7千円。

冊子作成費113万9千円。

企業向けアンケート費20万9千円。

歳入は情報掲載料として1件3,000円×150件で45万円を見込んでおります。

最終的に301万5千円の費用が想定されます。

以上で企業委員の発表を終わります。

○山本彩生議長 ありがとうございます。自席にお戻りください。次に、「新城でオパろう事業」です。私はこのチームに所属しており、発表の場に立ちたいので、請井映和委員に進行をお願いしたいと思います。請井委員、よろしくお願いします。

○請井映和委員 委員の請井です。山本議長と交代し、進行を務めますのでよろしくお願いします。あらためまして、「新城でオパろう事業」です。よろしくお願いします。

○山本彩生委員 わたしは新城市に住んでい

て、自然がたくさんで歴史もあり、美味しいものもたくさんあって凄く新城って良いところだなと感じています。

今年から豊橋の高校に通い始め、ショックを受けました。それは友人に「新城ってどこ？何があるの？」と聞かれたことです。

私は隣接している自治体のことを知っているのに、新城は知られていない、それはとても悲しいことだと思います。

この話をしたとき、観光委員会のメンバーも同じ経験をしていました。

新城市が知られていない理由について話し合い、私たちはその原因のひとつに、新城が持っている観光資源を上手に活かしていないという現状があるのではないかと考えました。

○森野綾菜委員 そこで私たちは新城の素敵な観光資源を活かして魅力を伝えるために、その観光資源を効果的に活用できるように働きかけ、1人でも多くの人に新城を好きになってもらうことを目標としてかけました。

私達は話し合いを重ねていくうちに「100人に知ってもらうより1人に好きになってもらう」という想いをもちました。

それはただ知名度を上げ、観光客を増加させたいというものではなく、新城を好きな人が1人でも増えたら、新城の豊かな自然や歴史が大切に守られるのではないかと考えています。今回の政策では、そのきっかけ作りの第一歩となるように、新城市の埋もれていた観光資源である、海老川で採れる宝石オパールを活用して、新城市の魅力を伝えます。

○神藤夏帆委員 みなさんはオパールが新城で採れることを知っていますか？

私たちはオパールが新城で採れると知り、オパールを自分で採ってオリジナルアクセサリーを作る体験ができたらいいのではないかと思います。

市外の女性やカップルに来てもらい、新城市を好きになってもらい、自然を通して新城

市の良さを知ってもらいたいと思います。具体的な政策内容は、自分で採ったオパールでオリジナルアクセサリーを作るイベントです。1回あたり8人の参加で、開催は2回を予定しています。

場所は、日本でも数少ないオパールを採れるスポットの海老川です。

オパールを採取する際には、鳳来自然科学博物館の学芸員の方に採取方法やオパールの判別を手伝っていただきます。

採取した後は、ハンドメイドの講師に協力していただき、旧門谷小学校にてアクセサリーに加工します。このモニターの写真のように加工することを予定しています。

参加費は1人1,000円で、イベントの運営は生涯共育課の方々です。

この政策を行うことで、課題であった活かしていきれていない観光資源を使い、魅力を伝えることができます。

1人でも多くの人に新城市を好きになってもらうという目的を達成できます。

想定される費用として、歳出は体験イベントの経費と、アクセサリーの消耗品費、イベント周知用のチラシの費用などで、合計33万3千円を予定しています。

また、イベント参加料は1人1千円なので、16人で合計1万6千円が歳入になります。

○請井映和委員 ありがとうございます。自席にお戻りください。それでは、発表が終わりましたので、再度議長に進行をお願いしたいと思います。山本議長、よろしくお願います。

○山本彩生 次に、「手渡しは最高のコミュニケーション事業」です。よろしくお願いします。

○ミラーケイト委員 情報発信委員会です。よろしくお願いします。

私たちが感じる新城市の課題は、『いいと

ころはあるが、うまく情報が伝わっていない。』ということです。

まず、『いいところ』とは、新城市の魅力の事です。例えば、ジブリ映画にも使われた鳳来寺山や、鮎掴み、そばづくり体験などの田舎ならではの自然を感じられるものや、日本最大級のラリーイベント「新城ラリー」、2020年には世界ラリー選手権の候補地にも新城市はあがっています。その他にも日本三大軽トラ市の一つの新城市軽トラ市、他にも、歴史的に有名な長篠設楽原の戦いがゆかりののぼり祭などのイベントの事です。

○渡邊花奈市外委員 また、『うまく情報が伝わっていない』ということに関しましては、実際に軽トラ市で街頭調査を行なった際に、パンフレットを見たことがないという人が多くいました。このように新城市の観光の情報が詰まったとても良いパンフレットがあるのにも関わらず、手に取ってもらえなかったり、パンフレットの存在を知らない人がいるということが問題点だと考えています。

○古瀬愛優美委員 情報発信委員は、私たちの感じる課題を解決するため「新城市にたくさん人が来ること」を目的としました。

新城市と私たちが発信した情報が少しずつ、しかし確実に広まることによって、市外の人々が新城市に興味を持ち、今後2、3年、また継続して発信することで、100年後に今よりもたくさんの方が新城市に来てくださると思います。

ですが、新城市にたくさん人が来るという目的は私たちが受け持つ1年間では達成することは難しいと考えました。そこで、この1年そして来期からの目標として「新城市に興味を持つ人を増やすために若者議会で積極的にPRをする！」を掲げました。そのためにも、まずは少しでも多くの人に新城市について興味を持ってもらうために今年からできた広報部の仕組み作りをしながら、今年から新城市と若者議会のPRを精一杯していきたい

と考えています。

○井上文誉委員 私からは具体的な政策内容について話させていただきたいと思います。今後の広報部の仕組みづくりは次の2つを考えています。

1つ目は、自分たちから出かけてPRをするということです。PRをする際にはパンフレットを手渡しすることでコミュニケーションを取る事ができるのではないかと考えました。これは様々な市外のイベントに足を運び、若者議会と新城市についてPRをしたいと思っています。回数としては年に4回行うことを想定しています。行く場所をいくつか候補としてあげておくことと、PRする時の簡単なマニュアルを制作しておき、6期以降も活動がスムーズに行えるようにしておきたいです。

また、軽トラ市にも2ヶ月に一度PRをしに行こうと考えています。現状、市役所の広報活動に同行してPRをしているのみなので、将来的には若者議会にPRを頼みたいと思ってもらえるように頑張っていきたいと思っています。

○市園響委員 なぜこのように自分達から出掛け、手渡しでPR活動を行おうと思ったかというと、私たちが実際に藤ヶ丘のマルシェでのイベントや軽トラ市での手渡しでのPRを行った時の経験があるからです。藤ヶ丘での活動の際、子ども連れの方はフォレストアドベンチャーや総合公園に興味を持ってくださる方がとても多く、それらのパンフレットは全て配り終えてしまいました。年配の方は名古屋から新城に移動することは大変なので、気軽に新城に行くことができる、バスに魅力を感じたようです。バスのパンフレットも沢山受け取っていただくことができ、残ったのは僅かでした。

このように、話している中で市外の方が興味をもつものが何かを知ることができ、その情報を市に伝えることができます。何が人気

なのか事前に知ることができれば、イベントに持っていくパンフレット選びの参考にもなると思います。それに加えて、私たちが様々な場所に足を運ぶことで、若者議会のPRにもなるので応募者の増加にも繋がります。イベントに来てくれた皆さんに直接パンフレットを手渡しすると自然に皆さんとコミュニケーションがとれることに繋がり、情報を発信するだけでなく皆さんの意見を聞いて情報収集することもできます。

○中西航太郎委員 2つ目は、若者議会のグッズを制作することです。

マルシェでパンフレットを配った際、若者議会のTシャツを着ていたのですが、それだけでは何をしている集団なのかわかりづらいのではないかと感じました。なので若者議会ののぼり旗、法被を制作し、PRする際に若者議会の名前や若者議会のメンバーであることを一目見てわかってもらうようにこういったグッズがあると効果的であるため制作したいと考えております。

○水野しづく委員 以上のこの政策は、私たち若者議会の“委員が”行っていきます。来期以降の若者議会の委員にも毎年継続してPRを行っていただきます。

PRは市内の方市外の方問わず、PRする場所に来てくださった方全員を対象として行っていきます。理由としましては、例えば、食に関するイベントや車に関するイベントなど様々なイベントによって配るパンフレットは変わっていきます。イベントごとに来る方の年代や興味のある物が違うので、対象を絞るのではなく、多くの人に届ける方が効果的だと考えたからです。

そしてこの政策に必要な費用について説明していきます。まずPR用の経費ですが、PR先に行くために使用する公用車のガソリン代や、高速料金が含まれ、合計31,000円となります。次に広報啓発グッズ作成費ですが、のぼりや法被作成費が含まれ、合計1

0万円となります。総額は13万1千円となります。

○益子アイメ委員 私たち若者議会委員は新城市が大好きです。新城にあるたくさんのいいところを新城市民にはもちろん、市外の方にも発信をし、私たちと同じように新城が好きと言う方が増えていけばいいと思っています。本日、提案しました政策は来年以降のためのものですが、私たちも若者議会の委員としての残りの日々で、色んな方に新城のことを発信し続けます。以上です。

○山本彩生委員 ありがとうございます。自席にお戻りください。

○三浦企画部長 それでは、3つの事業の説明も終わりましたので、若者議会から市長に答申を行いたいと思います。よろしくをお願いします。

3. 答申

○山本彩生議長 令和2年度 新城市若者予算事業に関する答申書。新城市若者議会は、若者総合政策の実施に関して、令和2年若者予算事業計画を策定しましたので、新城市若者議会条例第2条第1号に基づき、以下のとおり答申します。令和2年度新城市若者予算総額 3,479千円。

1. C&Hマッチング事業 3,015千円。

高校生に新城市の企業情報を若者目線で届けることで、新城市が就職先候補の1つとなり、市内の若者増加・活性化につなげます。

2. 新城でオパろう事業 333千円。

新城市の魅力を多くの人に知ってもらうため、埋もれていた観光資源の1つ「オパール」を活用したイベントを実施し、新城市を好きになってもらいます。

3. 手渡しは最高のコミュニケーション事業 131千円。

新城市のいいところをより効果的にPRする

ために、若者議会における広報部の仕組みづくりをします。

令和元年11月12日。新城市長穂積亮次様。新城市若者議会 議長 山本彩生。

4. 市議会議長あいさつ

○山本彩生 それでは、続いてお忙しい中ご出席いただきました、鈴木市議会議長様からごあいさつをいただきたいと思います。

○鈴木達雄市議会議長 若者議会の皆様こんにちは。今日はこの、今年令和元年度になっての若者議会の事業、今まで皆さんが課題を見つけて悩んだ結果、今日答申書を市長に手渡すということになりました。

私ども新城市議会も今議会として政策作りを、作る力をつけていこうという目標に向かって動いています。

まあ皆さんの今日の答申書を見て、逆に勉強になりましたのでまた参考にさせていただきますと思います。

今日の一つ目の「C&Hマッチング事業」。これは今の新城市、そして、だけではなくて東三河もいわゆる若者が外に出て行ってしまうような地区にとっては、この地で働いてくれることがとってもうれしいことです。ですので企業の情報を知って、この地域の働く生活を知ってもらうということが本当に必要だなと思いました。目の付け所がとても素晴らしいなと思います。

また二番目の「新城でオパろう事業」これについてはオパールということで、実は私も子供の頃、水晶を探して山の中を遊び回った思い出があります。このワクワクしたような思い出、そして発見して嬉しかったという思い出が、その体験が、とてもこのチーム、ふるさとを好きになることにつながるなあと思いますので、こういった外から来た人も、そんな体験をすれば、この新城がほんとに好きになってもらえるんじゃないかと思いました。

三番目の「手渡しは最高のコミュニケーション事業」

実はこの新城のいいとことという写真を先輩若者議会の若者アウトドアチームがフォトコンテストで募集した写真、実は新城市議会のこんな広報誌の表紙に使わせていただいております。私たちも実は知らなかった所もたくさんあって、これをこの新城市だけではなくて外の人にも見せてあげて、こんなに良いところだよってことを話をして、話をしたいなあということで使わせてもらっています。希望があれば、PRを受け持ってもらえるような話もありましたので、また新城市議会も若者の皆さんの意見を伺いながら、議会のPRをしたいなあと思っておりました。

実は今日私、今日の今日、前丸山市議会議長に引き継いで新しい市議会議長ということになりました。皆さん先ほど緊張した面持ちで答申をしておりましたけれども、私はそれ以上に緊張しておりますので、まあこれから皆さんと一緒にですね、若者議会、そして我々の議会も頑張っていきたいなと思っております。今日はありがとうございました。

若者の言葉というものを、私たち、そしてこの新城市とても飢えています。若者の皆さんの声が聞こえること、そしてそれが地域を動かすことになり、そして人が集まり、そんな動きを始めるきっかけになるだろうと思っておりますので、これから皆さんもどんどん声を上げていただきまして、この新城市のまちづくりに大いに頑張ってくださいたくとうれしいなと思っております。今日はほんとお疲れ様でした。終わります。

5. 市長あいさつ

○山本彩生議長 ありがとうございました。最後に、穂積市長からごあいさつをいただきたいと思っております。

○穂積亮次市長 皆さん、こんばんは。市長

の穂積でございます。令和元年度第10回になります若者議会、ただいま議長さんの方から3つの事業に関する答申書を確かに受け取らせていただきました。

5月の第1回の議会で皆さんの所信表明があり、その後8月の第6回の中間報告の場には、私も含めて市の職員も大勢参加をさせてもらいました。第1回の時のそれぞれの所信から、今回は第5期の若者議会でこれまでと運営を少し変えまして、3つの委員会制度を作ってその中で色々な課題や政策を絞り込んでいってもらったわけですが、この夏の時の第6回の中間報告のときに各テーブルで色々な議論をですね、皆さんが率直にされているのを聞いておりましたけれども、そのときの議論から今日の答申については、非常によく絞り込まれてですね、課題、並びに政策の狙いがですね、非常に明確になったというふうに受け取らせてもらいました。これもこの半年間に及ぶ、皆さんの熱心な議論、また議論だけではなくて、今回の特徴でもありますが、皆さんが色々なところに出向いて行動して、その行動から得た様々な新しい情報や知識、気づき、こういうものをお互いに意見を交わすなかで一つの政策の方に絞り込んでいけてくれたものと思っております。今後はですね、すでにお聞きと思っておりますけれども、若者議会から予算の提案・建議をいただいたわけですが、その他にも現在新城市では市内を10の自治区に分けて、その地域自治区からも各自治区の予算建議というものも受けています。これが先だって10の自治区の予算建議書をすべて私の方で受け取らせていただきましたので、市民提案でもある自治区予算、それから若者議会の予算、それから議会の方からも各委員会ごとで、常任委員会ごとで、予算に関する要望を近々受け取るようになっておりますが、その議会の要望・提案、さらには各庁内の部署で予算要求をまとめていますので、それらをだいたい年末から年始

にかけて全体を総合して、令和2年度の予算案を市長の方で作成をします。その後3月の、来年3月ですけれども市議会の定例会に予算案を出して市議会で審議をいただいて議決を得ればですね、来年度4月から令和2年度から予算が執行されていく、そういう流れになります。ですのでいつもこの年この毎年この場で申し上げていることですが、一つは是非とも議会との意見交換もたぶん予定をされていると思いますが、予算を審議し議決するのは議会の役割でありますので、議会の議論にも何らかのかたちでアクセスをしたりコンタクトをとったり、あるいは議会の皆さんと意見交換をして、若者議会にかけた皆さんの思いをですね、議会の皆さんにも伝えていただけるような場を作るようにしていただきたいと思います。また先程来お話があるように今回の3つの事業それぞれですね、来年度の執行になっていきますし、とくに今回は若者議会のメンバーが行動の中心となってやる事業もたくさんあるかと思っています。そうしますと、その事業は第6期の若者議会のメンバーが担う、もちろん皆さんも来年度メンターとして関わることもできるわけですけども、直接の責任は第6期の若者議会にも引き継がれていきますので、その予算の執行過程、そしてまた第6期の若者議会の皆さんの活躍の仕方もですね、新しい目で見ていただいて、この令和2年度の予算の答申書はですね、本当に皆さん自身の君ら自身の思いのこもった事業になっているかどうかを検証していただければなあと思います。先程来申し上げるように、若者が活躍できるまちを目標に据えて新城市では若者総合政策、そして若者議会を条例として設置致しました。これまで5期にわたる事業をやってきましたが、そのための先輩方の多くの事業の積み重ねのうえに、今回の答申がなされたと思いますが、これまで以上にですね、地域の課題を自分の足でしっかりとつかんで、その課題の解決を若者ら

しい目線で、提案をしていただけたのかなと思います。もちろん事は一朝一夕でできるものではありませんので、我々行政、また市議会、そして市内の様々な地域の皆さんと共同歩調をとり、多くの方と交わってですね、これからの新城市政の一端をですね、担っていただきたいなと思います。とくに今回出された企業情報、あるいは観光の情報発信、あるいはオパろう事業なども含めてですね、このような課題を意識をもって様々な行動をしている市民・団体・地域が新城にはたくさんあります。是非そうした方々にも自分達の問題意識を率直にぶつけて、そしてその人達が長年積み重ねてきたことから学びながらですね、また新しい一段とフレッシュアップした事業を一緒になって手を繋いでやっていければありがたいと思います。いずれにしても、この答申に至るまで、皆さん大変な努力を重ねてくれたと思います。そしてまたこれから来年の3月まで若者議会の活動は続くわけありますので、これからもその思いが実現できるようにですね、皆さんと一緒に力を尽くしていただきたいと思います。小さな積み重ねが、一つずつ積み重なり、課題が掘り下げられ、そして人を繋ぐ輪がですね、広がる中で新城市の将来ができあがっていくものと確信をしています。皆さんの努力に敬意を表するとともに、それを支えていただいたメンターの皆さん、またなによりも皆さんを送っていただいたご家族や地域の皆さんにも感謝を込めてご挨拶にしたいと思います。本日はありがとうございました。

○山本彩生議長 ありがとうございます。この日を通過点として、さらにより政策となるよう話し合いを重ねていきたいと思います。これからも、新城市をもっとよくできるように頑張っていきましょう。

これをもちまして、第10回新城市若者議会 市長答申を閉会させていただきます。

閉 会 午後7時45分